

## 委員 長 報 告 書

文教厚生委員会は、平成 28 年 7 月 19 日（火）、20 日（水）の 2 日間 山口県光市において コミュニティ・スクールについて、同県防府市において 土曜日の教育活動推進事業について、視察研修を行いました。

以下その概要について報告します。

### 記

光 市	市制施行	平成 16 年 10 月 4 日
	人 口	52,333 人
	世 帯 数	23,287 世帯
		(平成 28 年 6 月 30 日現在)
	面 積	92.13 k m <sup>2</sup>

光市は、山口県の東南部に位置し、瀬戸内海に面している。医薬品や鉄砲を中心に圏域の工業地帯の一翼を担う近代産業都市として発展しており、海岸などの自然と都市基盤がコンパクトに調和した良好な住環境を有している。初代内閣総理大臣の伊藤博文公の生誕地である。

### 【コミュニティ・スクールについて】

#### 1. 光市のコミュニティ・スクールの概要

##### (1) 光市の小中学校の現状

小学校 11 校、中学校 5 校

(中学校区内に小学校 1 校、中学校 1 校。臨海部に位置する)

- ・浅江中校区：浅江小、浅江中
- ・光井中校区：光井小、光井中
- ・室積中校区：室積小、室積中

(中学校区内に小学校 4 校、中学校 1 校。内陸部に位置する)

- ・島田中校区：島田小、上島田小、三井小、周防小、島田中
- ・大和中校区：塩田小、三輪小、岩田小、東荷小、大和中

※各小学校区にコミュニティセンター（公民館）がある。

##### (2) 光市で取り組むコミュニティ・スクールの考え方

学校、家庭、地域が協働して学校運営に参画する学校「地域協働学校」

を目指している。

○3つの目標

- ・地域で育てる意識の醸成…地域が子どもを育てるという意識を作る。
- ・学校運営の質の向上…コミュニティ・スクールの実施を通じて、学校運営の質を上げていく。
- ・故郷を大切にする気持ちの育成とコミュニティの活性化…自分たちが育った故郷を大切にすることを育てることと、地域や保護者に支援をしていただくことによってコミュニティの活性化を図る。

○中心課題

- ・「めざす子ども像」を共有し、それぞれが「教育の当事者」として、同じベクトルで子どもを育てる。

…この課題を中心に置いて、3つの目標の達成を目指す。

(3) コミュニティ・スクールとは

保護者や地域住民が学校の様々な課題解決に参画し、それぞれの立場で主体的に子どもの成長を支えていく仕組みであり、学校運営協議会を置く学校のことである。

- ・協議会の委員構成：保護者、地域住民、教育委員会委員など

- ・協議会の役割：

○校長の作成する学校運営の基本方針を承認すること（必須）

○学校運営について、教育委員会又は校長に意見を出すことができる（任意）

○教職員の任用に関して、教育委員会に意見を出すことができる（任意）

(4) コミュニティ・スクール導入の経過

平成18年度から2学期制を導入し、積極的に取り組んでいたため、コミュニティ・スクールを導入する考えはなかった。しかし、議会から提案されるなど必要性があるとの考えに至り、一斉導入は難しいことから、まずは、一つの学校で文部科学省の研究指定を受けて研究し、その結果がよければ市内に広げていく方針となった。

最初に、浅江中学校（小学校1校、中学校1校）を21年度から2年間研究校指定し、2年間の研究を経て23年度から正式導入した。次に、地域性の違うもう一つの中学校区をとの考えで、島田中学校（小学校4校、中学校1校）を22年度から2年間研究指定したのち、導入した。研究を進めるうちに、やはり効果があるとの結論に至り、すべての学校に導入することになった。

計画的に導入することを心掛け、残りの中学校3校については、23年度

から市の調査研究校として指定し、2年間研究したのち導入した。24年度からは「学校支援地域本部」を導入し、コーディネーターに地域、保護者との連携を円滑にさせていただいた。小学校は中学校に1年遅れて、24年から2年間の準備期間を経て導入した。以上により、26年度から市内すべての小中学校が正式導入できた。

また、24年度から光市CS推進事業を開始した。これは、浅江中、島田中の研究内容を、他の小中学校の先生や関係者に対し、経過報告をするもので、課題や解決策などの共有を図りながら、コミュニティ・スクール導入を進めてきた。

#### (5) コミュニティ・スクールのメリット

##### ◎学校運営の質の向上について

###### 《柔軟性》外部人材の活用による学校教育・行事の活性化

…教員は前年と同様の運用をしていまいがちだが、地域の方や保護者の意見を取り入れることで柔軟性がでてくる。

###### 《安定性》定住する地域住民による安定した学校経営

…教員には異動がある。

###### 《客観性》地域住民による客観的な学校評価

…教員や保護者による学校評価は甘くなりがちだが、地域住民にも評価していただくことで客観的なものに。

###### 《多様性》教職員の異業種交流、民間企業OBからの助言

…教員だけではどうしても発想の限界がある。

###### 《教員の質の向上》

・企画力、調整力、判断力の向上

…地域住民の方と接することで向上する。

・コミュニケーション能力の向上

…専門的な知識を持たない地域住民に対する説明も求められる。

・気づく力の向上

…地域住民からの気づきに促されて向上する。

###### 《学校の活性化》

・子どもの変化、教員のやる気

…地域住民がほめてくれる。

・地域、保護者の信頼を得て、協議をしながら取組みが活性化

…教員、子どもが変わり活性化する。

##### ◎地域の子どもはみんな育てる意識の醸成

《様々な大人との関わりのなかで、多様な生き方、価値観との出会い》

⇒知的好奇心の喚起、キャリア教育、思春期独特の閉塞感からの解放、生徒指導上の課題を地域で解決

…地域住民が教員とは違い価値観で子どもと接する。

《学力向上支援》

⇒技術家庭の授業の支援

…調理実習など教員一人では生徒にきめ細かく指導できない時に地域住民に支援いただく。

◎故郷を大切にすゝる気持ちの育成とコミュニティの活性化

《子どもの発想による地域貢献》

…地域から感謝されることで自己肯定感の向上する。

(6) 教育委員会の体制

山口県内13市の教育委員会に、退職校長を山口CS（コミュニティ・スクール）コンダクターとして配置。各学校の学校運営協議会に参加し、その学校に応じた取組みをアドバイスしている。

現在、小中学校合同の学校運営協議会の導入や小中学校の連携に取り組んでいる。合同の学校運営協議会は3つの小中学校で導入済みで、28年夏休みに残りの小中で導入する。

## 2. 浅江小学校・中学校のコミュニティ・スクール

(1) 浅江小学校のコミュニティ・スクールの運営体制

**校内部会**：学校教務部、学校研修部、学校保体部、学校生活指導部

…学校の基本となるのは教員であるとの考えから、**教員**のみでコミュニティ・スクールの基礎となる部会を作った。部会は校務分掌とリンクしており、全教員がコミュニティ・スクールに参画するシステムになっている。自分の校務分掌と一致した業務を部会で取り組めるので、新たな仕事を発生させないよう工夫した。現在地域と行っている活動等や課題を洗い出し、各部会に当て込んで、検討を行う。

**CS部会**：PTAの役員と教員が部会に入る。

…部会に関わる課題や活動について保護者の意見をもらう。

**CS企画委員会**：PTAと教員に加え、**地域住民**も入る。

…地域が協力できることなど、地域住民の意見をもらう。

**学校運営協議会**

…CS企画委員会がまとめたことを協議会に提案し、承認が得られれば実行する。

(2) 浅江中学校のコミュニティ・スクールの運営

小学校と違い、CS部会を除いた3層構造とした。

**プロジェクト部会**：心の教育部会、体力づくり部会、学力向上部会  
…全教職員で構成、小学校の校内部会に相当。

**企画推進委員会**

…地域住民、PTA、教員で構成、小学校のCS企画委員会に相当。

**学校運営協議会**

…企画推進会がまとめたことを協議する場。

### (3) 浅江小学校のコミュニティ・スクールの成果

**生活力部会**

- ・1年生を迎える会：教員だけで行っていたが、地域の方も参加するように。
- ・サンドアート in 光：地域行事に参加し、地域住民にやり方を教わる。
- ・虹ヶ浜・島田川ウォーク：遠足として行う。光市にとって大切な場所で、地域住民に歴史等を教わり、教員も勉強になっている。
- ・潮音寺山ライトアップ：地域行事に生徒が飾り付けを支援する。中学生も参加している。

**学ぶ力部会**

- ・ふれあい工作教室：住民による提案。木材で工作する教室で、200人参加し人気教室。
- ・ふれあい絵画教室：近くの高校の教師をしている企画委員が提案。高校生といっしょに絵画を描く。
- ・町たんけん：地域の方と行っていたが、保護者にも呼びかけるようにした。30人の保護者が参加し、保護者の学習にもなっている。
- ・その他：サマースクール、読み聞かせの会、浅小ワークショップ、昔遊び

**健康力部会**

- ・水泳教室：地域住民や中学生が参加、多くの人数で教えられるので生徒の上達も効果。中学生にとっても活躍の場となる。
- ・その他：ふれあいラジオ体操、ふれあい給食試食会、あさなえ運動会、学校保健委員会

**安全力部会**

あいさつ運動：中学生や地域の方も参加。

- ・その他：見守り運動、防災訓練

### (4) 浅江中学校のコミュニティ・スクールの成果

**心の教育部会**

- ・潮音寺山まつり支援：学校の裏の里山で行われる地域行事で、地域住民の高齢化により、若い力が必要になった。企画、準備、当日の手伝い。

- ・敬老と福祉のつどい：以前から敬老の日にプレゼントを渡していたが、多くの生徒が、みんなと同じようなぬいぐるみを買って送る状況であった。地域住民から疑問の声が上がり、一緒にプレゼントをつくるようになった。
- ・虹ヶ浜松林の清掃活動：大切な市の宝。地域のボランティアが出ていたが、中学生も全員参加するようになった。
- ・その他：迎春準備、心を磨くトイレ掃除、ふれあい授業

#### 学力向上部会

- ・ALTと語ろう！：ALTの空いている時間を利用し住民が授業を受ける。
- ・あさなえテスト勉強会：テスト期間中で部活がない時、地域住民が学校で教える。
- ・あさなえ学習支援：中学生が小学校のサンホーム（放課後児童クラブ）で小学生の勉強を見る。
- ・響け！歌声：合唱コンクールの準備において、音楽の先生が一人で複数のクラスを指導するため忙しいので、地域の音楽教師の退職者や指導経験者に合唱指導をしていただく。大変効果的である。
- ・地域の行事などのポスターづくり、カレンダーづくり：学校のコンピュータークラブが依頼を受け作成する。クラブの活躍の場となる。

#### 体力づくり部会

- ・早朝元気クラブ：地域の方が朝練に参加し、交流する。参加者 30 人。
- ・小学生の部活動見学：小学生に部活動を見学してもらう。中学生になった時にスムーズに選んでいる。保護者も参加している。
- ・あさなえヘルシープラン：アンケートでは、朝食抜きが 2 割いた。親が作らないため、子どもでも作れる朝食を調理実習する。長期休みに各一回。
- ・その他、中学生による水泳・陸上教室、ふれあい元気マラソン、部活動活性化プラン

**地域貢献**：中学 3 年生が参加、総合の時間 10 時間を活用している。

認知症声掛け訓練、高齢者福祉施設訪問、お助け隊、消防団との合同訓練、災害復興ボランティア、募金活動

※地域の学校支援、学習支援があり、学校から地域貢献、ボランティア活動、地域の環境整備、地域と学校が Win-Win の関係でコミュニティスクールを進めていく。

### 3. コミュニティ・スクールのその他の取組み

#### (1) 小中学校の連携状況

- ・学校教育目標を合わせている…全国的にもめずらしい

「小学校」：主体的に人や社会自然と関わって、気づき、考え、行動する子どもの醸成

「中学校」：人権尊重を基盤とした「美しい心」と社会の変化に主体的に対応できる知恵を備え、心身共に健康で、気づき、考え、行動する生徒の醸成

・小中合同研修会の実施

部会別（生活力向上、健康体力向上、学力向上）協議による共通テーマや教科別の研修会を実施

・相互乗り入れ授業：中学校の教員が小学校の英語、算数の授業に週4時間入り、小学校の先生が中学校の理科の授業に週4時間入る。（中学生が苦手な部分は小学生の時に要因がある、など様々な気づきがある。）

・授業研究会：教員のみで行っていた研究授業に地域住民や保護者が参加。声が小さい、字が汚いなど厳しい意見も出るが、重要である。

・小中合同の活動

ふれあい清掃活動、水泳教室、陸上教室、サマースクール、あさなえ学習会、部活動見学、敬老と福祉の集い、潮音寺山ライトアップ、あいさつ運動クリーンデー、小学校6年生が中学校で授業体験（中学校での授業の雰囲気を感じ取る）、合同防災訓練

・小中合同学校運営協議会の開催

(2) その他のコミュニティ・スクールの導入

1. 光井中学校区（小学校1校、中学校1校）

…小中学校運営代表者会議を行い地域全体の課題を協議した後、それぞれの学校運営協議会で課題について協議を行う手法を取り入れた。

2. 室積中学校区（小学校1校、中学校1校）

…導入前に地域住民、保護者、教員でどのような子どもを育てるか協議を行った。その協議結果をもとにポスターを作成し、各家庭に配布した。

3. 島田中学校区（小学校4校、中学校1校）

…人材バンクを立ち上げ、各地域から10人ずつ登録してもらった。その方に学校行事に参加を呼びかけ、学校の現状を見てもらい、学校運営の参加を促した。

#### 4. コミュニティ・スクール導入の成果と導入時の留意点

(1) コミュニティ・スクールの成果

1. 生徒が地域の行事に参加する教育的価値を高めることができた
2. 地域行事やボランティアに自主的に参加する児童が増えた。

学校以外の活動で高く評価される機会が増え、生徒の自己有用感が向上した。

3. 教員の企画力、調整力などを実践的に高める研修の場となった
4. 地域の方と一緒に活動したり、見守られることで生徒に安心感が生まれ、あらゆる活動に意欲的に取り組むようになった。

※生徒指導件数は減少し、生徒たちの集中力がでて、学力向上につながっている。そのことは、全国学力・学習状況調査にも結果として表れている。

#### (2) コミュニティ・スクール導入の留意点やアドバイス

- ・一度にすべての学校において導入するのは無理があり、準備期間が必要。
- ・光市CS推進事業により、研究指定校の課題や解決策などを共有しながら、導入を進めてきたのがよかった。
- ・学校運営協議会の役割のなかで任意である「教職員の任用に関する意見」は採用していない。これは導入の妨げとなっている。
- ・学校運営協議会委員は校長が推薦して、教育委員会が任命することになっており、校長の応援団となるような方を選んだほうがよい。
- ・学校運営協議会が決定したいことを教員に押し付けるのはうまくいかないと思う。全ての教員が部会に参加し、自分たちが考えたことを実行することでやらされ感がなくなる。
- ・校内部会とリンクさせて校務分掌を活性化していくことが、学校運営の質を向上させる上で重要だった。
- ・公民館と連携がとれていたことも導入が上手くいった要因である。

#### 4. まとめ

光市はコミュニティ・スクールを導入することで、多くの素晴らしい成果を出していた。新たな活動を始めるのではなく、従来からあった活動をより充実させていた。また、導入方法に負担軽減の方策が図られていた。そして、保護者、地域住民、教員が関わることで、今までになかった幅広い意見や解決策がでてきていた。

本市では、「きのくに共育コミュニティ」(学校支援地域本部)をいくつかの地域で導入し成果を出しているが、核となるコーディネーターの負担が大きいという課題がある。コミュニティ・スクールでは、複数の地域住民や保護者が関わるので、負担軽減につながるのではないか。コミュニティ・スクールと共育コミュニティは共通点もあるので、本市における導入も十分考えられる。

防 府 市	市制施行	昭和 11 年 8 月 1 日
	人 口	118,182 人
	世 帯 数	56,023 世帯
		(平成 28 年 6 月 30 日現在)
	面 積	188.59 k m <sup>2</sup>

防府市は山口県の南中央部に位置し、瀬戸内海に面している。産業は古くは製塩業が盛んであった。現在はマツダやブリヂストンの工場が立地している。また、学問の神様、菅原道真公を祀った防府天満宮は日本三天神の一つとされ、多くの参拝客が訪れる。

## 【土曜日の教育活動推進事業について】

### 1. 防府市の教育

①防府市教育のめざす姿：「教育のまち 日本一」を目指しており、自分たちのまちが日本一だと誇りを持つという。

②防府市のめざす子どもの姿

- ・夢をもち、たゆまぬ努力を続ける子ども
- ・たくましさとしなやかさを備えた子ども
- ・ふるさとに誇りと愛着をもつ子ども

### 2. 土曜授業について

(1) 土曜日の教育活動の位置づけ

- ・土曜授業：教育課程内（授業日数、実数にカウントする）
- ・土曜の課外授業：教育課程外（〃 にカウントしない）  
…例：学校で大学生が授業の補修すること
- ・土曜学習：教育課程外、学校外

(2) 土曜授業の導入経過

平成 25 年度：学期に 1 回でスタートした。

平成 26 年度：学期に一回と、研究校 4 校は月 1 回程度実施した。

平成 27 年度：全校で月一回程度実施した。

平成 28 年度：引き続き全校月一回で継続しながら、そのあり方を検討している。

(3) 土曜授業の導入目的

平成 24 年度に市内全小中学校をコミュニティ・スクールに指定した。コミュニティ・スクールの機能強化を図り、「開かれた学校づくり」を一層推進するため、保護者や地域住民が来校しやすい土曜を選択して、土

曜授業を開始した。

⇒当初の目的は達成できたと考えており、東京で行われているような教科の補充や発展学習を入れていくべきと考えている。

(4) 土曜授業の内容

- ・通常行っている授業の公開
- ・保護者や地域住民を交えた体験活動
- ・運動会、文化祭などの学校行事
- ・PTAや地域行事と関連させた活動

(5) 土曜授業の成果と課題

- ・学校：開かれた学校となった。
- ・児童生徒：学びが広がり、深まった。  
…学力・学習状況調査では「自分にはよいところがある」、「学校のきまり・規則を守っている」生徒が増加した。
- ・保護者：土曜日に子どもを見てもらえる、学校が行きやすくなった。  
ただ、回数が多いという声もある。
- ・地域住民：学校の敷居が低くなり、行きやすくなった。
- ・教職員：週休二日に慣れており、導入時はリズムが変わり大変だった、勤務の振り替えが取りにくい、山口県内で防府市だけが実施している。

(6) 土曜授業の今後

- ・土曜授業の質を高めていく必要がある。
- ・学校運営協議会の保護者や地域住民からは、教職員の負担軽減のため自分たちが企画運営しようという嬉しい声もある。

### 3. 土曜学習について

<防府市教育“夢”プロジェクト事業“菅公みらい塾”>

平成26年度に市教委主体でモデル事業として開始。各学校が取り組む土曜授業より先進的なことを取り組むことを目指しており、土曜授業と重ならない日に実施している。

(1) 事業名について

「菅公」は、防府市にゆかりがある菅原道真公から取った、防府市で学ぶということを意識させる狙いがあり、「みらい」はこれからの防府市を背負う子どもを育てたい思いから名付けた。

(2) 菅公みらい塾のねがい（目的）

- ・将来の防府の産業や文化を支える人になってほしい

- ・ 防府を愛し、防府で学んだリーダーになってほしい
- ・ 防府の多様な人材、企業など社会資源を活用した学習プログラムを実施することで、各学校での教科、土曜授業等の充実に資する教職員の研修機会とする。

### (3) 菅公みらい塾の概要

- ・ 市内小中学校に在籍する小5から中2まで40人程度、学校を通して公募する。
- ・ 学校は、教職員のボランティア参加、会場の提供を協力する。

### (4) 菅公みらい塾がめざす学び

- ①過去：昔の人の知恵や生き方を学ぶ。
- ②現在：ヒトやモノ（産業）やコト（伝統行事など）から学ぶ。
- ③未来：自分らしさや夢をはぐくむ。
  - ・ 地域にいろんな人がいて、まちづくりのために活動されている。その存在に気づいてほしい。伝統行事やイベントには、継承してきた人や支えるスタッフがいる、その存在に気づいてほしい、
  - ・ 工場に行って、実際に見ることは強烈な学びになる。  
(ブリヂストン工場では、中東で使う大きなトラックの直径8メートルもあるタイヤを生産している。防府市で生産し、世界に出荷されることを子供たちは知らない)
  - ・ 子どもたちは、過去、現在を知れば、未来を語りだす。  
…みらい塾の最後の講座は、子どもたちが市役所で職員を前に未来を語る。

※この①～③をどのようにプログラムに組んでいくか、工夫しなければならぬ。

### (5) 菅公みらい塾のプログラム内容

- ①教科系…さらに深く、発展的な内容を学ぶ。
  - ②防府系…防府をもっと知り、市民の一人として考える。
  - ③体験系…防府のすばらしさを体験を通して学ぶ。
  - ④特別…時機をとらえて、テーマにそって学ぶ。
- ①～④の要素を持つプログラムを用意している。
- ・ 開校式は防府天満宮  
…講師は天満宮権禰宜、歴史を教わる他に、菅原道真公にまつわる伝説や宝物を特別見学する。
  - ・ 防府の特産品「鱧」料理を体験  
…プロの指導の下、骨切りなど体験、自分たちとプロの仕事の差を

実感する。秘伝のタレも登場するので、子どもたちは大変喜ぶ。

- ・リアルサイエンス教室で特別な授業
    - …NPO法人 体験型科学教育研究所 リアルサイエンス（理事長：秋山仁）に依頼する。
  - ・かまぼこづくり
    - …防府の名産品、職人が防府のかまぼこの歴史も教えてくれる。
  - ・天神まちかどフェスタに参加
    - …高校生が、中心商店街活性化を目的に、市場調査を行い自ら仕入れ、出店する。各店舗の売上げ状況や工夫、お客様のニーズ調査をお手伝いする。
  - ・萩往還を歩く
    - …明治維新の時に、維新の志士らが通った道で萩と防府間にあり、そこを歩き、ここから東京（江戸）に向かう、脱藩する、など志士の生き方を学ぶ。
  - ・防府をPRしよう
    - ICT技術を使い、防府PR番組を作成する
    - ・わいわいトーク
      - …市政について、市職員と一っしょに語り合う。
    - ・閉講式、市長講話
      - …最後は市長の熱い話しを聞く
- 今後はJC（日本青年会議所）との連携も考えている。

#### (5) 菅公みらい塾 学びの5か条

- ①公共のマナーを守り時間を大切にしよう。
  - ②しっかり見つめ、しっかり聞いて、しっかり考えよう
  - ③上級生は下級生を導こう。下級生も精一杯がんばろう。
  - ④学んだことを記録に残して、自分の財産にしていこう。
  - ⑤学びを支えてくれた人への感謝の気持ちを行動に表わそう。
- …小学校5年生から中学校2年生までの仲間が共に気持ちよく学ぶための5か条。特に③が効果的で、上級生はしっかり下級生を世話し、下級生は上級生のようになろうと努力する。

#### 4. まとめ

防府市では、事業説明を受けたのち、27年度の菅公みらい塾の様子をまとめたDVDを視聴したが、子どもたちがみんな活き活き伸び伸びと学習に参加しており、大変素晴らしく感動した。防府市民や企業の方も、積極

的に子どもたちの学習に協力しており、防府市全体が学びの場になっていた。コーディネーターが多様な学習プログラムを企画しているが、人材確保が実施成功の鍵となる。導入には負担も発生するのでは、そのことを十分考慮したうえで、可能であれば導入できればと考える。

また、防府市の教育環境も大変充実していた。24年度に市内全小中学校を一斉にコミュニティ・スクールに指定し、保護者、地域住民が学校運営に参画していることが大きく影響している。また、学校長の異動に伴い学校運営方針が変更してしまうことがあるが、防府市では、“信頼される学校となるための「防府市立小・中学校 10 の水準」”を示しており、学校運営協議会の存在と併せて、学校の安定的な運営に努めている。その他、教育委員会の学校教育課長は、学校長経験者が就任しており、教育委員会が各学校を下支えしていくという考えがあるとのことだった。視察項目と併せて、教育委員会の体制についても参考になった。

以上

なお、詳細については、議会事務局に資料を保管していますので、ご覧ください。